

週報 第3302回

会 長 杉本 憲一 副会長 中 透
幹 事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30

Izumitsu Rotary Club

泉大津ロータリークラブ



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumitsu-rc.org
ホームページ http://izumitsu-rc.org



今週の例会 (2025年8月8日) 第3302回

■ プログラム

卓話担当 高寺 壽 会員
「気ままな旅」

■ 次週のプログラム

8月15日：定款の規定により休会

■ 今後の予定

8月22日：卓話担当 寺田 敏也 会員
卓話講師
第67代令和7年度 泉大津青年会議所理事長
(有)友愛保険センター 代表取締役社長
岡田 勇一 様
「本年度の泉大津青年会議所活動について」

■ 祝 誕生日

岡本 笑明(8日)

■ 今月のロータリーソング

四つのテスト

今月の歌

海

海はひろいな 大きいな
月がのぼるし 日がしずむ
海にお船を 浮かばして
行ってみたいな よその国

■ 先週の例会

会長の時間



杉本 憲一 会長

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。
本日のクラブフォーラムで会員増強・クラブ研修の松内委員長が目標・抱負を発表されます。
2640地区の本年4月の地区研修で、北野ガバナーは会員増強を強く訴えてました。地区メンバー数が合計1600名を超えるのを目標として会員増強に取り組んでくださいと要望されてました。
2640地区は中期3か年目標(2024-2025年度策定、2025-26年度、2026-2027年度、2027-28年度)を発表しております。

- 1、クラブの会員基盤の向上支援
- 2、人道的奉仕と財団利用の推進
 - ・公共イメージ向上を図るため、人道的奉仕を重点化します。
- 3、公共イメージとデジタル化の推進
 - ・地域社会に開かれたロータリー・イメージを意識し、ロータリー・デーなどを推奨します。
- 4、多様性・公平さ・インクルージョン(DEI)推進
- 5、社会変革への対応とRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)の推進

会員増強を進めるため、前年度松村委員長のもとで作成しました「泉大津ロータリークラブ入会案内」を活用してください。

さて、話題は変わりますが、第107回全国高等学校野球選手権大会(8月5日(火) ～ 22日(金))が開催されます。

「全国中等学校優勝野球大会」～「全国高等学校野球選手権大会」の開催場所等の遍歴

1915年・1916年(第1回・第2回):当時箕面有馬電気軌道(現・阪急電鉄)が所有する現豊中市の豊中グラウンド

1917年 - 1923年(第3回 - 第9回):現西宮市の鳴尾球場

1924年 - 1945年(第10回～27回) 現在の阪神甲子園球場の場所に甲子園大運動場建設(1929年にアルプススタンド増設後、阪神甲子園球場と呼ばれる)

1946年(第28回):阪急西宮球場 戦後初の復活開催となった1946年(第28回)は、GHQに甲子園を接収されていたため

(1947年(第29回)までは「全国中等学校優勝野球大会」という名称であったが、学制改革による中学校から高等学校への改編に伴い、1948年(第30回)から現行の名称「全国高等学校野球選手権大会」となった。)

しかし、その後、開催場所の例外がありました。

1958年(第40回):阪急西宮球場(3回戦までの39試

合のうち18試合で使用)

1963年(第45回):阪急西宮球場(3回戦までの40試合のうち18試合で使用)

(出場校を大幅に増やした1958年(第40回)と1963年(第45回)では、大会日数を減らすために甲子園球場と西宮球場とを併用して行われたものの、不公平として評判が悪かったため(甲子園で試合できず敗退した学校からは苦情があった)、これ以降は一貫して甲子園で行われるようになった。)

このような歴史の中で、中止の年もありました

1918年(第4回):米騒動のため

1941年(第27回):関東軍特殊演習動員輸送のため

2020年(第102回):新型コロナウイルス感染症流行のため

一方、中断の年もありました。

1942年 - 1945年:第二次世界大戦のため

今年夏の甲子園には、東大阪大学柏原高等学校が大阪代表に。

7/27決勝戦 東大阪大柏原が14年ぶり2度目の甲子園決める 大阪桐蔭に6対5、タイブレーク制する。

幹事報告

細川 嘉則 幹事

- 皆様のメールボックスに、2025-2026年度会員証を入れさせて頂きました。
- 藤原重行名誉会員より、名誉会員への推挙のお礼状を会員の皆様あてにもいただいておりますので、ご紹介させていただきました。
- テーブルにガバナー月信8月号を置いております。今回は新会員の紹介のところに、6月に入会された、住友佳澄さんが掲載されております。
- 8月5日(火)は事務局員の都合により、事務局はお休みになりますので、ご承知おきいただきますようによろしくお願い致します。
- 本日例会終了後、くすのきの間にて、第3回理事役員会を開催します。理事役員および親睦活動委員長はご出席いただきますようよろしくお願い致します。

委員会報告

ロータリーの友8月号の読みどころの紹介
(森田 真一郎 会報・IT委員長)

■ 出席報告

会員数40名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
8/ 1	31名	9名	—	77.50%
7/18	33名	7名	4名	92.50%

■ ビジター

なし

■ メークアップ

- 榎本(7/30 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
- 松村(7/5 地区ガバナー補佐・幹事合同会議)
- 松内(7/25 70周年実行委員会)
- 森口(7/28 社会奉仕委員会)

■ ニコニコ箱

- ・本日クラブフォーラムよろしくお願いします (杉本)
- ・クラブ奉仕各委員長の皆様、本日のクラブフォーラムよろしくお願いいたします (細川)
- ・クラブ奉仕部門委員長の皆様、本日はクラブフォーラムよろしくお願いします。例会会場のカーペット新調しました。今後ともよろしくお願いします (川崎)
- ・ゴルフ同好会 道正田幹事、お疲れ様でした。お陰様で優勝できました。感謝 (植村)
- ・IRC コンペおつかれさまでした。賞金ありがとうございます (櫻井)
- ・嬉しいことがありました。欠席のおわびです (根尾)
- ・早退のおわびです (川端)

ニコニコ箱合計	21,000円
累計	87,500円

先週のプログラム

クラブフォーラム



松内 俊夫 会員増強・クラブ研修委員長

近年 当クラブでは会員の減少がより顕著になってきております

今後の運営に於いて危機が押し寄せまる待ったなしの状況でこれからの泉大津ロータリークラブの存続は今が正念場だと感じます

いかなる団体も「マンパワー」「人」がいないと成り立ちません

しかしながら会費等の経費が高い ライフスタイルの変化や多種多様なボランティア・奉仕団体も増える中ロータリークラブの存在意義が問われる時代でもあります

そのような潮流の中で会員増強はかなり厳しいのが現実です

そんな厳しい現状ではございますが個々に仕事はもちろんですがそれ以外でも様々な地域の集まりやイベントに参加や企画運営をされ地域貢献をされてるメンバーも少なくありません 今の泉大津ロータリークラブは魅力ある素晴らしいメンバーがたくさん在籍されてると思います

その中で特に若いメンバーが情報を更に共有し他団体にはないロータリーの魅力を地域の方に伝え会員増強に活用せねばならないと思います

その為に常日頃より委員長である私がメンバーと密にコミュニケーションをとり会員勧誘の依頼があればフットワーク軽く動く所存で御座います



森田 真一郎 会報・IT委員長

2025杉本年度 IT 広報委員長を拝命しました。

森田真一郎です

本年度の目標としまして 道正田委員に作成して頂きました公式泉大津ロータリークラブのアカウントを引き継ぎ 新入会員増強にも繋がるのではないかとのもので まずは知って頂く!ということが大事かと思ひこまめに発信していく所存です

またこれがうまく進めば我々世代は少し前に主流だったFacebookにもアカウントを増やし こちらも発信していきたいと考えております。



山本 博章 親睦活動委員長

皆さまこんにちは今年度、親睦委員長を務めております山本です。

先ず初めに今年度の委員会メンバーを紹介させていただきます。副委員長に中田会員、委員に外山会員、高寺会員、川上会員、八木秀富会員、櫻井会員、今井康隆会員、小野寺会員、住友会員の計10名で構成されております。

本日は、これからの親睦活動の予定と、委員会としての考え方についてお話しさせていただきます。

ロータリークラブにおいて「親睦」は、奉仕の理念を支える非常に大切な土台です。“まず親睦ありき”という言葉があるように会員同士が心を通わせ、信頼関係を築いてこそ奉仕の輪が自然に広がっていくのだと私は考えております。

◆活動のスタート

最初の委員会の活動は6月の最終例会後の懇親会からスタートいたしました。

次年度の幕開けを前に、和やかな雰囲気の中で会員同士のつながりを深めることができ、良いスタートを切ることができました。

この場をきっかけに、親睦委員会としてのテーマを「集う楽しさ、語らう喜び、そして絆へ」と掲げ、活動を進めてまいります。

◆8月29日：納涼例会（予定）

真夏の暑さを吹き飛ばす納涼例会を、8月29日に開催予定です。

暑気払いを兼ねた懇親の場として、普段とは違うカジュアルな雰囲気の中で、会員同士の交流を深めていただきたいと考えております。

特に新しい会員の方々にとっても、クラブに自然と溶け込んでいただける機会になるよう、工夫を凝らして企画中です。

◆12月20日：クリスマス家族例会（予定）

年末の一大イベントとして、12月20日にホテル阪急レスパピアにてクリスマス家族例会を開催予定です。ご家族にもご参加いただける華やかな行事として、世代を超えた親睦の輪を広げる場にしたいと考えております。

ロータリーの「家庭・職業・地域」をつなげる象徴的な場として、心温まるひとときを共有していただけるよう準備を進めてまいります。

◆親睦活動の意義と行動指針

親睦活動の本質は、単に「楽しく集まる」ことではなく、お互いを知り、理解し合い、信頼を育てることです。そのために私たち親睦委員会は、

- 1、会員が気軽に参加できる「敷居の低い親睦」
- 1、世代や立場を超えて自然と話せる「場の設計」
- 1、継続性のある「記憶に残る企画」

この3つを行動指針として、今後の活動に取り組んでまいります。

◆最後にこれから一年間、親睦委員会は、会員の皆

さまが安心して集まり、楽しく語らい、互いに理解を深められる場を提供してまいります。

参加してよかったと思える行事を一つでも多く実現し、親睦という土台の上に奉仕の理想を築いていくよう努力してまいりますので、どうぞ一年間、よろしくお願いいたします。

さて、ここまで親睦活動の予定をご紹介してきましたが、クラブフォーラムという場ですので、皆様のご意見やご感想を少し伺いできればと思います。

3つの問いかけをご用意いたしましたので3名の方を指名させていただきます。あてられた方はご意見等あればぜひお答えくださいますよう宜しくお願いします。

【問いかけ①：原点に立ち返る】

「皆さんにとって、“ロータリーの親睦”とはどんなもののでしょうか？ただ“集う”ことと“親睦”は何が違うと思われるか？」

a “もっと魅力のある会にしなければいけない。自分の為になるような会にしなければ、入らない。親睦、勉強になったな、自分自身の成長とを感じる会であることが大事だと思います。” 松村会員

【問いかけ②：参加しやすさの視点】

「親睦行事に“参加しやすい”と感じるには、どんな工夫があると良いと思いますか？」

a “自分が楽しまないと、皆が楽しまない。やらされているとは思わなかった昨年度の万博は最初は難しかったがやっているうちに楽しめた” 昨年度親睦活動委員長 細川幹事

【問いかけ③：行ってみたい親睦企画】

「もし、こんな親睦企画があれば行ってみたい！というアイデアがあれば、ぜひお聞かせください。」

a “親睦企画というよりも親睦をかねて台北・国際大会へ皆で参加したい。そしてまた次はドバイとなっているので今期から参加要請に力をいれてロータリーライフを楽しみたい。” 西端会員

以上3名の皆様貴重なご意見ありがとうございました。

「皆さんからのご意見やアイデアは、私たち親睦委員会にとって何よりの財産です。今後の活動にしっかりといかしてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。」

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか